

六郷まちづくり協議会だより

六郷地区・住民意識調査アンケート報告会を開催

六郷まちづくり協議会 西沢

六郷まちづくり協議会では、これからの「まちづくり」における地域課題や、ニーズ（要望）等を把握するために、平成29年11月、12月に「六郷地区・住民意識調査アンケート」を実施しました。

質問事項は、事前に地元の4グループ（計100人以上）による「ミニワークショップ」を開催し課題やニーズに対しての意見交換を行い、アンケートの質問に反映させました。

アンケートは六郷地区を8つの地域（自治体数が多いため）にわけ、地区内の有権者（男女各年代ごと）を無作為抽出した「1050名」に送りました。その結果「553名」（回収率52.7%）の回答やご意見を頂きました。

「六郷まちづくり協議会」では、この結果を踏まえ「住んでよかった、住みたい六郷」を目指して事業を展開していきます。アンケートにご協力を賜りました皆様に心からお礼申し上げます。

またアンケート結果を地元市民の方に知っていただきたく6月2日（土）19時～「アンケート報告会」（六郷地区センター）を開催し、約30名の方に聞いていただきました。当日多くの質問やご意見を頂き今後の活動に活かしてまいります。

今後、自治会長会や行政の皆様にも報告していく予定です。



家庭菜園 あなたも始めてみませんか？

牛淵ふれあい市民農園 久保田

牛淵ふれあい市民農園は開設から一年と3か月がすぎました。当初菜園は痩せた土と、石ころに泣かされ、本当にこれで野菜が収穫できるの？ と不安な気持ちの入り混じったスタートでした。

まして野菜や作物作りの経験がなかった私にとって、冒険そのものでした。

しかし、そんな不安を取り去ってくれたのが、地元の皆さんのご指導や、専門家、農園仲間のアドバイスです。

私は春野菜・秋野菜の講習会で多くのことを学びました。野菜作りの基本はまずは土づくり、良質の良い土は柔らかく、軽いそうです。

堆肥と肥料は同じものだと思っていましたが違うんですね。堆肥は土を育てるための環境作り、肥料は作物の生育促進の役割を果たします。

「人が土を守れば、土は人を守る」大変心に残る言葉でした。

講習会での教えを実践に活かそうと、土を耕し堆肥と肥料を混ぜながら苗付けをするのですが、なかなか思うように育てることが出来ず、がっかりした事もありました。

野菜をうまく育てるって本当にたいへんですね。でも農園仲間の野菜が立派にできたときには、喜びの声が上がります。なにはともあれ、楽しみながらの野菜作りに、私は今、はまっています。

市民農園の今年の目玉は、蕎麦づくりに挑戦することです。皆さん張り切っています。どれだけの蕎麦が採れるか、いまからとても楽しみです。秋には収穫祭も計画しています。

自分で生産した野菜を持ち込んで、皆さんと食べ比べるのも、とても楽しみの時間です。

今後も、ふれあい市民農園は地元の皆さんとの交流を深め、楽しく元気に活動していきたいと考えています。まだ空きの菜園・6区画が残っています。

是非私たちと一緒に汗を流してみませんか？皆さんの参加をお待ちしています。



栽培講習会と懇談の様子

